

被検液

殺菌効果試験

平成20年3月31日

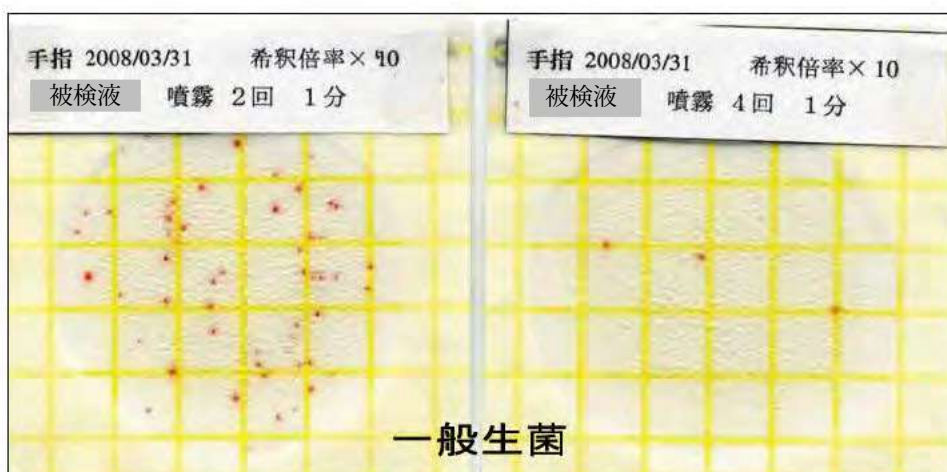
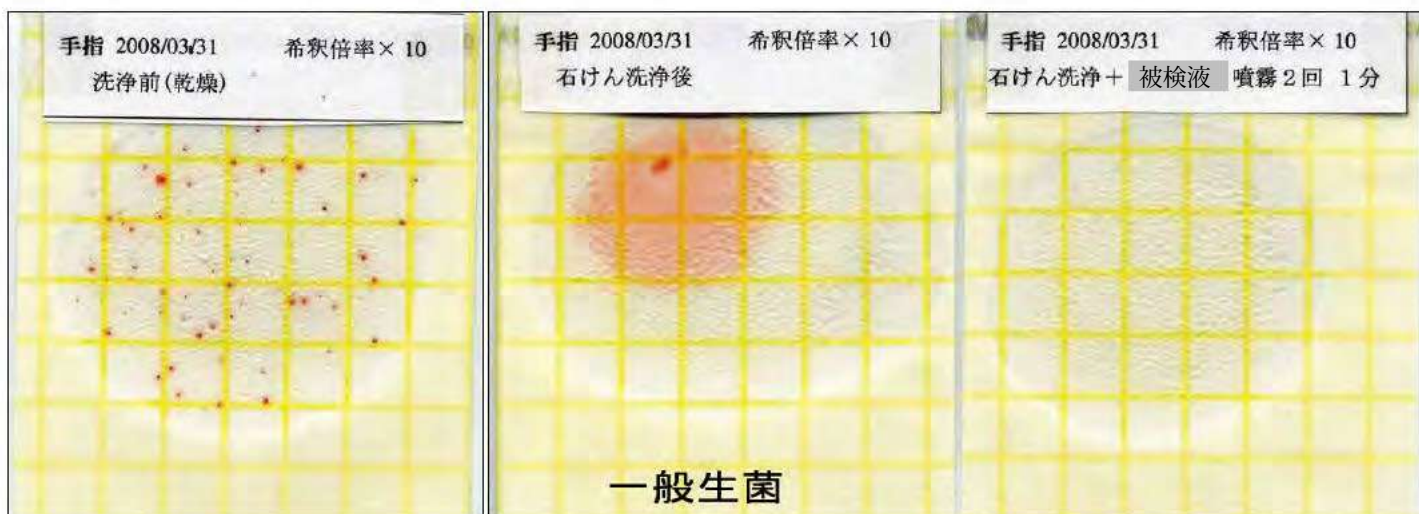
株式会社ユーケミカル

検査責任者 薬剤師 高島 美代子

1. 検体 手指
2. 試験目的 被検液 (80ppm) スプレーによる噴霧、殺菌効果の確認
3. 試験概要 手指に 被検液 (80ppm) を2回・4回噴霧1分後に拭き取り検査を行う。
4. 測定方法 ペトリフィルム ACプレート一般生菌 (35℃ 48時間培養)

試験結果

検体	生菌数 (CFU/・)	大腸菌群 (CFU/・)
手指 未処理	1.0×10^3	—
手指左 被検液 2回噴霧 1分	5.2×10^2	—
手指左 被検液 計4回噴霧 1分	3.0×10	—
手指石けん洗浄後	1.0×10	—
手指石けん洗浄後 被検液 2回噴霧 1分	—	—



上、石鹼で洗浄後も若干菌が見られますが、その後被検液を2回噴霧1分後には菌は見られませんでした。右、手洗いを行わずに被検液を直接手指に噴霧2回噴霧では不十分ですがさらに2回、計4回噴霧して頂くとかなりの効果があると言えます。